



[ 1 1 1 0 F 3 0 ]

No. 09FI-11934-5 (1/3)

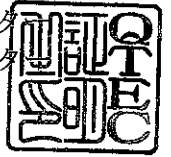
# 試験成績証明書

依頼者 キューセント (株) 殿  
 品名 ブラインド 1点  
 試験項目 断熱性試験 (赤外ランプ法 60℃)

平成21年08月21日提出の試料に対する試験結果は下記の通りです。

平成21年09月02日

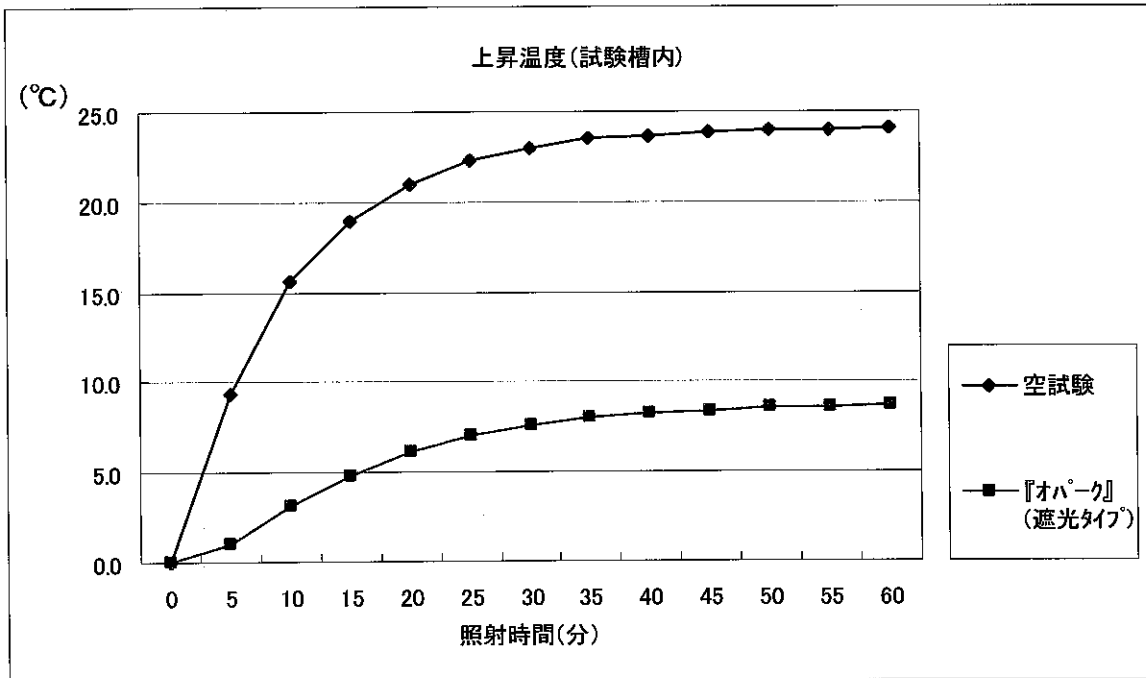
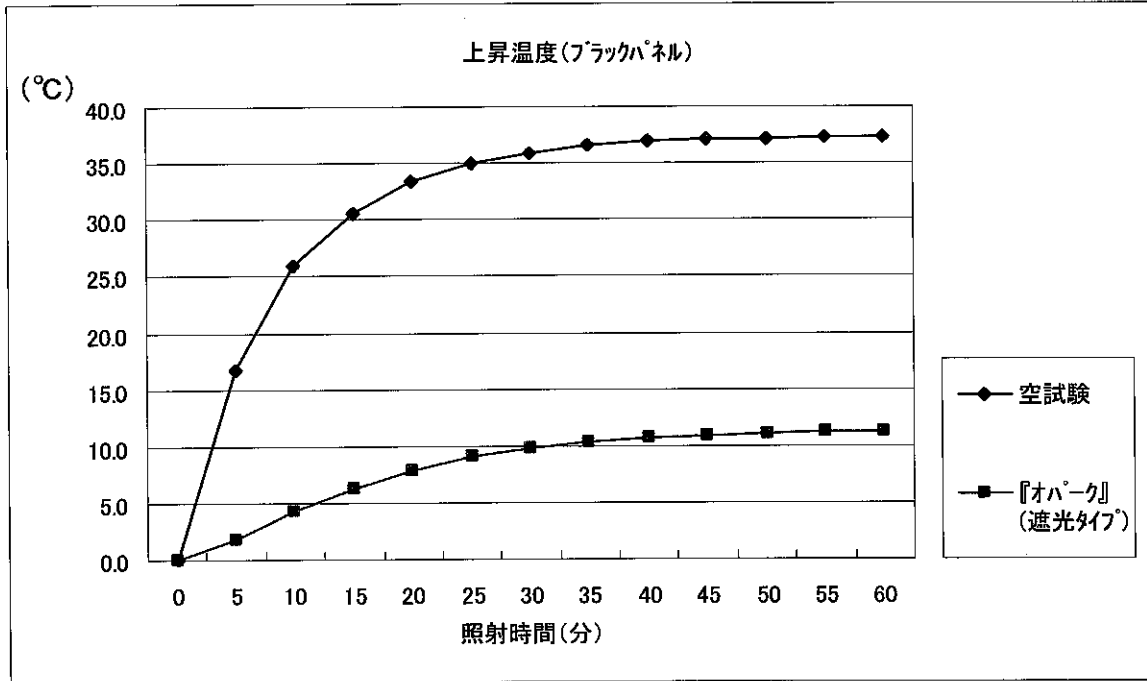
財団法人 日本繊維製品品質技術センター  
 福井試験センター



記

[試験結果]

照射時間 (分)	上昇温度 (°C)			
	空試験		『オパーク』 (遮光タイプ)	
	ブラック パネル	試験槽内	ブラック パネル	試験槽内
0	0.0	0.0	0.0	0.0
5	16.8	9.4	1.8	1.0
10	25.9	15.6	4.2	3.1
15	30.5	19.0	6.3	4.8
20	33.5	21.0	7.9	6.1
25	35.1	22.3	9.0	7.0
30	36.0	23.0	9.7	7.6
35	36.6	23.5	10.3	8.0
40	37.0	23.7	10.6	8.3
45	37.1	23.9	10.9	8.4
50	37.2	24.0	11.0	8.6
55	37.3	24.0	11.2	8.6
60	37.3	24.1	11.2	8.7
断熱効果 温度 (°C)	---	---	26.1	15.4
断熱効果率 (%)	---	---	70.0	63.9



[試験方法]

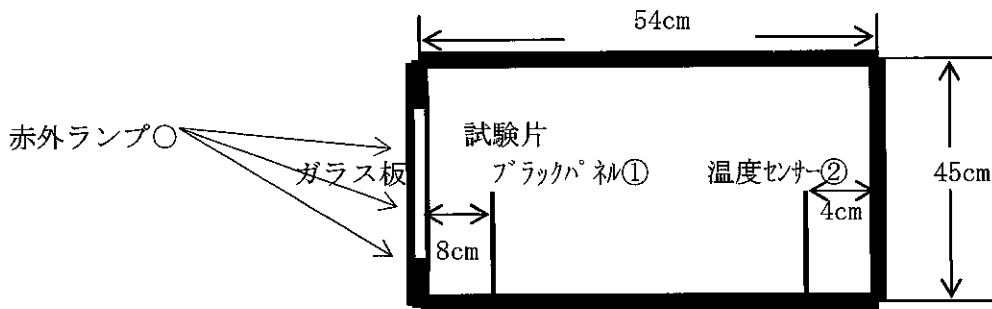
断熱性試験 (赤外線ランプ60℃法)

下図の装置に約50cm×40cmの試験片を吊るし、ガラス板より約50cm離れたところに赤外線ランプを設置し、試験片の表側より8cmの位置にブラックパネル①、ガラス面反対側の壁面より4cmの位置に温度センサー②を設置する。赤外線ランプを60分間照射し、5分毎にブラックパネル温度及び試験槽内温度を測定する。また、試験片を吊るさない空試験も実施する。

- ・断熱効果は、空試験の最大値と試験片試験の最大値から下記の式で求める。

$$\text{断熱効果 (℃)} = \text{空試験の最大上昇温度 (℃)} - \text{試験片試験の最大上昇温度 (℃)}$$

$$\text{断熱効果率 (\%)} = (\text{空試験の最大上昇温度} - \text{試験片試験の最大上昇温度}) / \text{空試験の最大上昇温度} \times 100$$

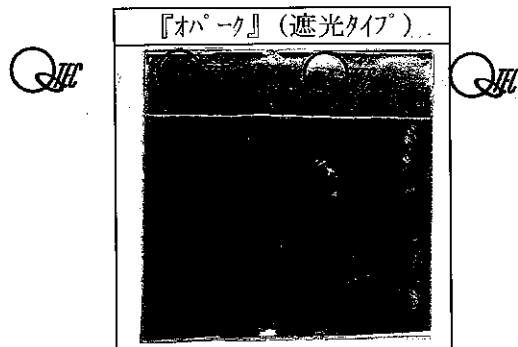


試験装置のサイズ 54×54×45cm(0.131m³)

測定条件

環境温度：25.0±1.0℃  
 初期温度：ブラックパネル 25.0±0.5℃  
                   試験槽内 25.0±0.5℃  
 有効空試験条件：ブラックパネル最大上昇温度 37.0±0.5℃  
                   試験槽内最大上昇温度 24.0±0.5℃

[提出試料]



前田

確認  
杉本